

轉て 敬ぎよ

10
2020
Oct

信のとびら

「交友関係を広げよう」

10月のご奉公のすすめ

10月のお寺の行事予定

8月のご奉公日誌

日晨上人祥月法要ご訓辞より

「ご回向のすすめ」～私の体験

今年度のご奉公テーマ「お教化のすすめ」

「女の子」 安藤照志

日晨上人から学ぶ 金長泉説

私のおよろこび

「岐路で迷いのない」

「次世代への本尊わたし」

こどもたちの会

お初穂の精神で家族の心をひとつに



佛立本旨講妙應寺

モデル：クレバちゃん
(千葉中央教区・Nさん)

交友関係を広げよう

水谷随歎



この一年で、新たな知り合いは増えましたか？知り合いの中から友人がとなった人はいいますか？

我々信徒は、信心を弘めるためにご奉公させてもらっているので、ご弘通する事が、先師から託された重要な我々の使命です。今月も、いつも

の人達が集まるお講が開催出来ればいいと済ましていい訳ではありません。そこに、新たな方を連れ来て信心を伝える。お寺、お講参詣は無理でも、普段の何気ない会話から信心の大切さを伝える。我々信徒は、外にアンテナを張って少しでも信仰の素晴らしさ

を伝えることが重要です。

新型コロナウイルスの影響で、信徒同士の交流が減っているとは思いますが。だから、人に伝える事は出来ないという方もあるでしょう。しかし、もっと世の中を知れば携帯電話でも人と繋がれます。ライン、ツイッター、インスタ

グラム、様々な形で、自己紹介

来るのです。

介をして見ず知らずの人と繋がる事が出来るのです。機械は知らないからやらない、

毎月のお講を無事に務めるのがご奉公の全てなんて思わないでください。新たな方を、連れてきて御本尊奉安し

ではなく知らないなら調べて研究して活用をして頂くと

育成するまでが我々の使命です。そのために、使えるものは積極的に何でも使ってい

きつと新しい世界が広がるでしょう。家に居ても、外にい

ても繋がれるのです。入院中でも、携帯電話さえ操作出来れば多くの人にメッセージを

送れます。知らないからやらない！知らないから怖い！な

どと言わずに、調べたり子や孫に聞いたりして、使いこな

せるようになりたいものです。携帯電話ひとつでも、ご

弘通ご奉公に繋げることが出来るようになって、自分自身

を向けてください。自分自身

が外に出られなくなっても携帯電話を使うことでも弘通ご奉公になります。詳しいことは、各受け持ちに聞いてください。2020年、コロナで

動けないかもしれないですが、そんな時にこそ、みなさんも

新たなものに挑戦し、弘通の輪を広げましょう。チャンスです！

世代の違う人達と話をする

と、いい刺激が貰えますよ。現状維持安全地帯にノホホン

としているなんて、つまらないじゃないですか。

広宣流布！

10月のご奉公のすすめ

今年度のご奉公テーマ「教化」

信心修行の目的は皆で寂光参拝をさせて頂く事です。この寂光の道標みちしるべとなるのは「妙法を我も唱え他人にも勧める」教化のご奉公に踏み出すことです。願

いのある人には当宗の教えの真実なる事を伝え、「一緒に唱えて現証利益を体験しましょう」と勧めて下さい。そして現証利益を体験したこの人にも人助けのご奉公に参加して頂き、この輪を広げてゆきましょう。又、差し迫った願いのない人には、スマートフォンで、お寺の紹介やご信心の基本を知って頂けるよう動画を用意しました。これを見て頂ければ下種結縁の一步になります。

来月の

「ご奉公のポイント」

一、信徒講習会

コロナウイルス感染予防のため、11月に予定していましたが徒講習会は中止とさせて頂きま

二、七五三無事養育成長御礼言上式

今年度は、コロナ禍ですので11月22日(日)の朝の勤行時に言上させて頂きま

三、諸御本尊拝受御礼御講

今月の「随喜轉教」

今月はお祖師様のご祥月で

す。どんな問題も御題目口唱一本槍で乗り越える信心を授けて

下されたお祖師様への報恩ご奉公の思いで、朝参詣やご祈願

等、目標を立てて精一杯勤めさ

せて頂きましょう。

頂いた御利益を喜んで伝え

ば、随喜轉教になります。尚、ご奉公だからこそ今後

も三密を避け、マスク着用、手洗いや殺菌消毒の習慣を継続して下さい。

10月の寺内予定

日 程	行 事	時 刻
1日～7日	開講本旨再興祈願朝参詣週間	
1日 木	開講本旨再興祈願総講 	10時半
3日 土	運営会議	9時半
4日 日	口唱会 (第2地区、護法部)	中止
	若い人の口唱会	中止
	高祖会奉修費、御供米料奉納、参詣人数申込締切	
10日 土	連合幹事会	中止
	後続者育成連絡会	中止
11日 日	高祖会無事奉修祈願朝参詣週間 (～17日)	
	高祖会本堂大掃除 第一地区担当	中止
17日 土	開導聖人御命日総講	10時半
	高祖会全体会議・準備ご奉公	中止
18日 日	高祖会 朝の勤行に併修 	7時
25日 日	門祖聖人御命日総講	10時半
	正副教区長会	中止
	令和2年前期納金表提出締切	
31日 土	赤い羽根共同募金締切	

11月、12月の甲御講で懐中御本尊・自動車御本尊・ロケット御本尊を拝受されている方は、一年の御礼を言上させて頂きましょう。この機会に、諸御本尊にご不敬がないかよく確認して必ずお塵払いをさせて頂きましょう。尚、使用されていない御本尊はお寺に返納させて頂きましょう。

四、団参中止に伴い

コロナ禍で中止となつていますが、同志寺院の弘通発展に寄与するために全教区でお花料の応援をさせて頂きましょう。

勧募の期間は10月20日から11月25日まで。通常のお花料の袋で寺務所までお願いします。11月末に聞信寺・聞泉寺に奉納させていただきます。

時間が経っても口唱伝承されるぞ奉公

令和2年8月30日

日晨上人祥月御命日法要

御導師よりいただいたご挨拶

御参詣ありがとうございます。

日晨上人は大正12年に乗泉寺の住職になって、大正15年には開導日扇聖人の御三十七回忌のご奉公



をされています。おそらく当時も30年以上経つと、開導聖人のことを直接知っている方はほとんどいらっしやらずになっ

て、その教えを守るといいうのは大変なことだったのだと思います。

現在の我々も昭和59年にご遷化になった日晨上人のお元気で盛んにご奉公なさった頃のことを知っている

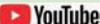
かとなると、もうご存知の方はいらっしやらなくなっています。しかし、時間が経つても日蓮聖人以来の教えというのは今風に言えば標語にまとめて口伝えで残されています。

例えば日蓮聖人のすぐのお弟子の日朗聖人は、給仕第一の方と言われていますけど、朗門の三則という言葉があつて、これは給仕第一、要するに御宝前に対するお敬い第一、続いて信心第二、学問第三という具合に重きを置く順序を標語みたいな

形で、言い習わして教えが伝わっています。直接私たちは日蓮聖人、開導聖人について知る由もありませんけど、教えはいろいろ残される、そういうことを手づるにして、今現在の時代へ生かすということを決えずやっていかなければならないのです。

いま、私たちがいただいている御利益の多くは先祖のご回向によつてお陰をいただきました、ご回向によつて対人関係の問題が解決しました、という御利益談などがたくさんあります。このたび、いくつか表しやすいいものを絵に描いて一冊にまとめました。これは重要な手づるですよ。ご回向によつてこういうご利益があるんですよ、ということをお次の世代に伝えてゆきましよう。

令和2年8月行事報告

日 程	行 事	
1日～7日	開講本旨再興祈願朝参詣週間	
1日	土 開講本旨再興祈願総講を10時半より奉修しました	
	運営会議を12時半より開催しました	
	高祖会奉修本部会議は中止としました	
8日	土 連合幹事は中止としました	
	後続者育成連絡会も中止としました	
13日	木 高祖大士御命日総講を10時半より奉修しました	
16日	日 日晨上人法要お塔婆申込締切	
17日	月 開導聖人御命日総講を10時半より奉修しました	
23日	日 開講本旨再興祈願口唱会は中止としました	
	くんげ会・蓮華会合同御講も中止としました	
25日	火 門祖聖人御命日総講を10時半より奉修しました	
	正副教区長会は中止としました	
30日	日 日晨上人祥月御命日法要を10時半より奉修いたしました	

日晨上人祥月御命日法要点描 (YouTube 配信あり)



- ① ご遺影にご焼香される御導師、副住職、事務局長、信徒代表として各地区長
- ② 御導師ご挨拶
- ③ 三密対策をした信者席
- ④ ライブ配信の画面



次第

- 10:30 無始已来
奉修言上
標題、唱題
焼香
如説修行抄第六段
唱題
- 11:00 日月偈・引題目・久遠偈
結願言上
①ご披露
②日晨上人ご法門ビデオ10分間
③御導師ご挨拶
- 11:40 終了

日晨上人祥月御命日法要



ご回向のすすめ

◆仕事上のいじめが解消◆

渋谷港教区

Tさん

わたしが最初にご回向のありがたさを感じたのは15年間ブランクがあつてから仕事に就いた時のお話です。先輩に嫌がらせを受けたことがありました。その時にご回向・御塔婆をさせて頂くことを教わり、一週間させていただきました。

すると、その方が怪我をされました。私びつくりしました。「そんなお願いはしなかった」と。そのケガがきっかけで私の気持ちが優しくなったのか、先輩が私を頼つ

てくるようになったのです。

その方とは仕事を辞めた後もお付き合いをさせていただきました。

これをきっかけにご回向を毎月初めにかけてさせていただくと安心して、この生活は今も続けられています。

◆近隣ご回向◆

かながわ北教区

Aさん

何かのトラブルを抱えた時は、御塔婆、ご回向と教わっていましたので、その通りにさせて頂きました。上の子が幼稚園の時、悪気はありませんが、かなり乱暴な子

がおり頭を悩ませていました。

お腹をたたく、首をしめるなど、危険な事をしてくるので、お寺でご回向させていただくと、翌日からぱったりなくなり、仲良く遊べるようになりました。

私自身は、仕事を始めたころ、口うるさく注意してくる方がおり、仕事を教えて下さること有難いのですが、少しストレスに感じていました。

同じようにご回向をさせて頂くと、次の仕事の日、何も言われず仕事する事が出来ました。その方とは、今も関係良く仕事させて頂いています。



夏期参詣のぐい供養について (多摩教区甲の御講より)

A Mさん

お参詣数の特定ができないため、今回保存食のおにぎりという選択は良かったと思います。すぐには食べずに十分保存できました。

K Mさん

子供達も大変喜びました。お水でも、お湯でも作りましたが、どちらも大変美味しかったです。



C Cさん

コロナ感染が広がっている今、このような状況でご供養としてよく考慮されていると心より感心しました。実にベストだと思えます。次男夫妻が来たので、お寺のお話をしながら渡しました。少し抵

スマホ便利アプリ

紹介コーナー

「どこCAR」



大きな遊園地やホームセンターなどで、どこに駐車したのか分からなくなったことはありませんか？

でも、このアプリさえあれば車を駐車した場所を地図上に記録し、戻る際に今いる場所から駐車場まで誘導案内してくれます。

このアプリは、車に利用するだけでなく、電車やバスで観光地など訪れた時、戻りたい場所を登録しておけば、散策した後に登録地点に確実に戻れます。初めての御信者宅に御参詣した際などにも活用できますね。

プレイストアから「どこCAR」と検索し、インストールしてください。



抗ありましたが、少しでもお寺に近づいてほしいと願う気持ちで、利用させていただきました。でも次男夫妻は驚きながらも、とてもよるこんでくれましたので、よかったです。



M Nさん

いつもおにぎりお味噌汁、美味しく頂いていました。今年はコロナの状況下なので、ご供養はないと思っていましたから、いただいてびっくり。災害非常用に役立つと思い、保管しました。ご信者仲間も高齢の方が多いので、荷物一つでも持ち帰りが大変そうです。この御供養は軽いので、助かったのではないのでしょうか。



次世代への本尊わたし

目黒教区 Nさん

以前うちの連合に所属のYさんの話をさせて頂きます。本駒込の新本堂でお参詣が始まった頃、Nさんから連絡がありました。Yさんが新本堂にお参詣したいから連れてって、と言うことでした。

当時、皆でお助行に行きますと大きな犬と可愛いお孫さんに囲まれて幸せそうな様子でした。Yさんはずっと病気だったと思います。電話はなかなか繋がらず、手紙でお見舞いをし、轉教を送り続けていました。去年11月17日に息子さんから電話があり、「母が亡くなったので、

葬儀をどうしようか」という話でした。八王子の墓地にご主人も入っているので乗泉寺にも電話したと言われたので、是非こちらで葬式なさいませと話し、お講師にお願いし、Nさんと葬儀に行きました。

家族葬と言っていましたが親戚や近所の方も大勢いて、暖かい葬儀ができました。短い時間でしたが、今後の様々なことで、助行日や納骨の日を大体提案しましたが、これが、なかなか決まりませんでした。そこで、また、手紙を出し続けました。

更に、このコロナ禍で自宅に

いるのでYさんのお名前を毎日言上することにしました。すると、1ヶ月程した6月に電話があり、弘通会費を11月から8ヶ月分、送りますと言ってお寺に送ってこられたのです。本当に嬉しく思いました。

色々聞けば、お母さんを自宅で介護するのは本当に大変です。仕事も昼夜逆の仕事で身体も無理を重ねて12月には倒れてしまったそうです。そのため、約束の助行や納骨が出来なかったことが後で分かりました。

これからも次世代の方の気持ちに添い、少しずつ信心増進を願ってご奉公させて頂こうと思えます。

小さな女の子

安藤照志

在家の時の事です。近所の女の子が、毎日私の所に遊びに来る様になりました。両親が働きに行っているので家に帰っても誰もいないから本当に毎日来ては、「おじちゃんおじちゃん」となっていました。また私には三人の子供がいて、みなでよく遊んでいました。

お講参詣が有る時は、「出掛けるから」と言うと、「私も一緒に行く」と言うので、車で家族と連れまわりしていました。それが度重なるうち、その子のお母さんに「おまわりに行くと言うので連れて行っている」と

話をすると、「それはありがたい娘をしこんでほしい」と言われました。その子が小学二年生位の時、お母さんもおまわりに誘ったら「私はいいから娘をしこんで」と言ったので「小学生の子供だけに信心させる事は出来ない、御本尊は親が受けるものだ」と話すと、「じゃあお父さんに聞いて来る」と言って帰りまし

た。するとすぐに戻って来て、主人が「あの人がしている信心ならいいよ」と了解した事を言いに来ました。それからその家に行ってみると、一向宗を誰にも内緒でしていて、押し

入れの中に線香を立てた灰が山のようになっっていて驚き、危ないからすぐ整理して肩に掛ける白い布も返すように言いました。先方には、こちらのご信心をする事を伝えてもらいました。

それから間もなく立派なお戒壇を建立し、ご主人もお寺まいり、お講参詣もするように成りました。奥さんは役中のお役を受け一生懸命ご奉公を頑張るようになり成りました。小さかった女の子をきつかけに家族全員でご信心をさせて頂く事が出来る様になりました。





日晨上人より学ぶ

現証

金長泉説



ご利益は、仏様の「めぐみ」ですが、

そのご利益にも色々の種別があります。無事息災のご利益もあれば、病氣全快、心願成就、商売繁盛のご利益もある。また、私どもの五感に感じないご利益もありましょうし、信心増進というご利益もあります。その中で現証のご利益という場合は御法の真実なることを証拠だてるご利益ということになります。

自分ではどうにもならないとき、結構なご利益を頂いて窮状が打開されれば、なるほどこの信心はありがたい、身も心もお任せしても安心だという決心がつく、それはご利益のために信じる心になれたわけで、そ

のご利益を現証のご利益というのです。ですから現証のご利益とは信心を起こし、堅固にするために現れるご利益とも申せましょう。

世間には議論で問題の解決ができると考えている人が多いのですが、実際は議論で解決のできない事柄の方が多いのです。議論を重ねるとだんだん紛糾し、感情的に対抗するばかりです。から、なるべく事実を示して解決する工夫をする方が賢明です。右と左、資本家と労働者、宗派と宗派の問題など議論で決まったこととはおそらくありません。議論より実行し、事実で証明するに限ります。「論より証拠」でなければ真の力に

はならない。ですから信心の良さを人に伝えて折伏教化のご奉公を志す場合、信心の良さを生活とか商売とかのしぶりを通じてあらわすような心がけることが肝要で、その現証に訴えてこそ、当宗の信心を真に世人に納得させることができるのです。

(ある角度から第一巻七〇頁)

日晨上人はご信者にご利益のいただかせることをいつも考えて教えて下さいましたので、その御教えを守ることが大切です。お互いご信者は自分にご信心の手本を見せれば他人もなる程と感心してまねるものでもあります。ご信者が信心をしてご利益を次から次へと感得し、喜びにあふれた信心振りなら他人にも感化力があります。お互いご信者は、他の人の幸せを祈る信者にならして頂いてご利益を頂き、弘める努力をする。ことが大切であります。

献花奉納の悦び



六角堂に納骨している親族へ、いつも綺麗なので、献華をさせてご回向と家族の健康を見守って頂いている喜びを感じ、ご奉持で毎月のお命日に献花をさせることのありがたさを感じて頂いています。始めたきっかけは、

(練馬教区 Sさん)

お寺参詣の時に本堂のお花が奉公に参加した時からです。

お寺参詣の時に本堂のお花が

★こどもたちの会★

「お初穂の精神で、家族の心をひとつに！」

<p>場に生きているという心で仕えるという意識が大切です。</p> 	<p>⑥ 家にご宝前が安置されるとは</p>  <p>① お給仕は「お初穂」を差し上げるという精神で行う事を忘れてはいけません。</p>
<p>ありがとうございます！</p> <p>お母さん、お花買って来たよ～！</p>  <p>⑦ 家族の誰かにお花やお盛物を買って来てくれる。</p>	<p>② 朝、目が覚めたら顔を洗って</p> <p>着替えをして</p> 
<p>ありがとうございます</p> <p>私も手伝うね！</p>  <p>⑧ こうなれば家族にもお給仕の精神が定着した事になります。</p>	<p>③ まずは一番に仏に供えるお初水を取りましょう。</p> 
<p>⑨ 子供が大きくなると一緒に過ごす時間が減ってきている様に感じますか...</p> <p>はい、お弁当</p>  <p>行って来ます！</p>	<p>④ ご飯が炊けたらまず先にご宝前に差し上げましょう。</p> 
<p>⑩ とても大丈夫!! ご宝前に対する荷女の習慣は後々まで子や孫たちの心の支えになってくれるはずです!</p> <p>行ってらっしゃい!</p>  <p>お戒壇にお盛物を買って来るネ～!</p>	<p>⑤ お戒壇のお掃除も、心を込めて丁寧に磨きましょう。それがお給仕です。</p> 

※ご教歌…仏前の香花灯明ふき掃除すればわが身の福德となる

コロナ禍の中で三密回避・マスク着用・消毒励行を



ありがとうございます。

秋のお会式、高祖会奉修はコロナ感染症が収まらない
為、朝の勤行に併修させて頂きます。

少し報道等のトーンが下がりぎみですが、引き続き三
密回避、手洗い、マスク着用等の感染防止を徹底させて
頂き、ご弘通御奉公をさせて頂きましよう。

轉教

令和2年10月1日発行 第22巻第10号 通算248号

編集兼発行人 山本久男

発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺

〒113-0021 東京都文京区本駒込6-6-11

TEL 03-5319-3490 FAX 03-5319-3491



<http://myooji.com>



info@myooji.com

題 字：水谷日尚上人

表紙絵：Sさん（埼玉東教区）